公益社団法人北海道看護協会 札幌第1支部

さっぽろ 第1支部だより

vol.70
2022.9

2022年9月29日発行 ■ 編集発行／公益社団法人北海道看護協会 札幌第1支部 ■ 編集責任者／勝見 真澄

01 支部長・副支部長 ご挨拶

● 支部長 勝見 真澄

日頃より、札幌第１支部の運営・活動に多大なるご支援ご協力を賜り、心より深く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症（以下：COVID-19）の再感染拡大が落ち着きつつあり、日常生活を取り戻そうとする動きが見られています。皆様の職場におかれましても、厳しい制限を緩和する一方で、新たな対応に苦慮されていることと存じます。

支部事業におきましては、昨年度に引き続きオンラインを取り入れつつ、参集型での学習機会も再開しながら、効果的かつ効率的な事業となるよう役員会や委員会で検討を進めております。今年度も多くの講演会や研修会等を企画していますので、皆様のご参加をよろしくお願い致します。

また、これまでのCOVID-19との戦いの経験を通して、支部として感染に強い地域づくりに貢献できる活動の必要性を痛感しておりました。道民の健康と福祉に寄与するために、今後本部や他支部と協働しながら新たな取組を検討していけるよう残り１年、尽力したいと考えております。

まだまだ気を引き締めながらの状況は続きますが、会員の皆様におかれましては、引き続き支部運営へのご意見やご要望、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

● 副支部長 小野 由美

支部の皆様に支えられながら副支部長２年目となります。副支部長１年目は何をどうしたらよいのかわからず、役員・委員の皆様に沢山のことを教えていただきながら過ごし、２年目からはやっとお役に立っているかなと思いながら活動しています。コロナの影響で研修方法の新しい取り組みや、急な変更にも柔軟に対応できる専門職の皆さんを見て、自分もまだまだ頭を柔らかく考え続けることができる能力が必要だと感じました。また、WEB研修が多くなり会場に出向くことがなくて良いというメリットはありながら、会場に行ったからこそ久しぶりに会って話ができたという場面も少なくなりさみしい気持ちもあります。

支部活動に参加しはじめた頃は、現場ではPPEグッツの確保や患者さんに感染させないように、クラスターにならないようにと日々奮闘しながらすごして、あっという間に時間は過ぎていました。そんな中で支部の活動を通じて知り合えた方々との情報交換ができたことはとても心強かったことを思い出します。これからも支部の活動を通して、支部の施設間が横のつながりを持ち共に学び協力しあえ、地域住民の皆様への社会貢献に繋げることができることを目指して支部活動を行っていきたいと思います。これからも与えられた役割を無駄にすることがないように取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

02 今年度事業計画のご紹介

●教育委員会　委員長　上田 昌子

札幌第１支部教育委員会では、今年度も10月12日、13日に「看護実践に活かすフィジカルアセスメント」の研修開催を予定しています。講師は昨年度に引き続き市立札幌病院 救命救急センターでクリティカルケア特定認定看護師として勤務されています山村竜彦先生にお願いし、フィジカルアセスメントの基本から、日々の看護に活かせる知識、技術についてわかりやすく講義をしていただきます。フィジカルアセスメントは、看護のどの場面においても活かせる技術です。新型コロナウイルスの影響より今年も感染対策を行いながらの開催になりますが、様々な職場の方に参加してほしい思いますので、ぜひご応募ください。

●推薦委員会　委員長　田所 亮一

推薦委員会は、改選される役員・委員の推薦、北海道看護協会、日本看護協会の代議員・予備代議員を推薦する役割を担い活動を行います。

今年度は委員６名、協力しながら公正公平に推薦活動を行っていきたいと思います。

会員の皆様のご協力、何卒よろしくお願い致します。

●働き続けられる職場づくり推進委員会　委員長　谷 美沙都

働き続けられる職場作り推進委員は、看護職１人ひとりが健康で安全に自分らしく働き続けられるように、会員の皆様を支援する活動をしております。

今年度、アドラー心理学の講師として、更にはヨーガ療法士としてメンタルクリニックで指導を行う、㈱アットマーク代表取締役 佐高葵月代先生に講演を御依頼しております。佐高先生には昨年度も講演をお願いし、会員の皆様からも大変御好評をいただきました。

今年は、セルフコンパッション（自己肯定感）をテーマとしています。この講演を通しセルフコンパッションを身につけストレスをコントロールし、自分自身や他者ともよい関係を築き上げ、より一層健康で生き生きと働き続けられるよう願っております。

●医療安全特別委員会　委員長　石井 令子

今年度は２回の研修を計画しました。７月のオンライン研修「治療的コミュニケーションを医療安全に活かす」では、“コミュニケーションエラーを減らすためにはまず自分を知ることから”という講義は大好評でした。10月からの動画配信研修も企画していますのでぜひお申し込みください。10月８日のオンライン研修「スペシャリストに聞く、いますぐできる認知症ケア」は、医療訴訟に詳しい中村弁護士と、カンフォーダブル・ケアを提唱する南看護師のお二人の講義が聴ける貴重な機会です。どちらの研修もご自宅から研修を受講できます。病院勤務の方のみならず、高齢者施設に勤務する看護職の皆さまも是非お申し込みください。

●広報委員会　委員長　佐藤 達也

札幌第１支部広報委員会では、今年度も２回の広報誌の発行を予定しています。広報誌70号は各委員会の支部長と副支部長の挨拶、各委員会から事業紹介、年間の研修の予定をお知らせします。71号は今年度開催した研修の内容と研修に参加した参加者の様子などをお知らせする予定としています。新型コロナウイルスの影響より今年も感染対策を行いながら研修の開催を行なっており、今後研修参加を検討している会員様たちに安心して参加できることを伝えられるようにしていきたいです。

●看護師職能委員会　委員長　伴 道之

今年度の職能委員会の事業内容は、看護師一人ひとりがコロナ禍における高齢者救急看護を学び、社会のニーズに対応できる看護実践能力を培うことを目的として活動します。主として、ななーる訪問看護ステーションにお勤めされているNPで老人看護専門看護師の長瀬 亜岐先生をお招きしてご講演を行います。題材は「コロナ禍における高齢者救急看護に求められるもの」を予定しています。長瀬先生は北海道札幌市出身であり、高齢者の救急医療領域で活躍されている先生です。高齢者が増加する未来に向けて、専門性の需要が高まっており、今後一層の研鑽が必要な分野であると考えます。また、コロナ禍における専門的な知識・技術を伝えるための講演が必要であると判断したため、今年度の事業内容にしました。

●保健師職能委員会　委員長　本田 光

保健師職能委員会では、下記の日程で研修会を企画しています。コロナ禍を経験して人々の生活も健康の問題も複雑化、多様化している社会の中で奮闘している私たちですが、まずは私たち自身の心と身体の状態をみつめ、大切にするようお互いに声を掛け合いたいものです。この研修会をとおして、セルフケアについて学ぶと共に、職場のお互いを気づかい、いたわり、理解することの大切さを改めて考える機会になることを願っています。講師は保健師でもある三井洋子先生をお招きします（オンライン）。市民の健康づくりを支えるためにも、まずは私たちからセルフケアを実践しましょう！

令和４年10月22日（土）13:30 ～15:30@オンライン

心身ともにいきいきと働き続けるために ～自分自身に気づいてセルフケアしつつ、周囲との関係性を豊かにする

講師　三井 洋子氏（株式会社Dream Seed代表取締役）

●助産師職能委員会　委員長　堀本 真由美

今年度は昨今話題となっているコロナ禍の助産教育およびストレスマネジメントに着眼し、7月23日（土）に研修を企画しました。

午前「CLoCMiP® 関連研修 必須研修【専門的自律能力】後輩指導･助産師教育～明日から活かせる！ウィズコロナ社会の助産師教育をみんなで考えよう！～」をテーマに札幌医科大学保健医療学部看護学科の正岡経子教授に講師を依頼しました。また、同日午後「働く助産師のメンタルヘルス～ストレスを味方につける！モチベーションマネジメント～」をテーマに、北翔大学大学院人間福祉学研究科研究科長佐藤至英教授に講師を依頼しました。研修方法は感染状況を考慮しZOOMよるオンライン研修に変更し無事終了しました。

03 北海道看護協会　令和3年度札幌第1支部講演会

令和４年２月19日（土）札幌パークホテルにて「成長する看護職・成長する組織―アンラーニングで学び続ける―」をテーマに、北海道大学大学院経済学研修院教授、松尾睦先生の講演会が行われました。アンラーニングという聞きなれない言葉でしたが、経験を通して学び引き出した過去の教訓に固執するのではなく、教訓をアンラーニングでアップデートし、応用していくというものでした。成功体験後のノウハウ（教訓）を固定化してしまうと業績の低下へ繋がりますが、ノウハウの理解・改善で業績の維持が、ノウハウの入れ替えで業績の向上が見込まれます。私達看護職も自分のいる組織の現状を把握し、今のやり方で本当に良いのか振り返る、そして現状維持にとどまらず常にアップデートしていく事を意識していかなければならないと思いました。新年度には新しいスタッフと働く機会も増えます。スタッフ全体が前向きな気持ちで働くことのできる職場づくりをしたいと強く感じた講演でした。

札幌南三条病院　佐藤　知子

04 令和4年度　北海道看護協会　札幌第1支部　年間予定

開催方法：＊参集：参集のみ　＊オンライン：オンラインのみ　＊ハイブリット：参集とオンライン併用

主催	研修名	開催日	場所	開催方法	テーマ／講師
保健師職能委員会（４支部合同）	保健師職能講演会	令和４年10月22日（土）13:30～15:30（13:15オリエンテーション開始）	ACU	オンライン Zoom	テーマ：心身共に生き生きと働き続けるために ～自分自身に気づいてセルフケアしつつ、周囲との関係を豊かにする～ 講　師：株式会社ドリームシード　代表取締役　三井 洋子先生
助産師職能委員会（4支部合同）	助産師職能講演会	令和4年7月23日（土）	ACU-A（アスティ45）	ハイブリット予定	午前 テーマ：（仮）CLoCMiP関連研修　後輩指導・助産師教育 ～明日から活かせる!ウィズコロナ社会の助産師教育をみんなで考えよう!～ 講　師：札幌医科大学保健医療学部教授　正岡 経子先生 午後 テーマ：働く助産師のメンタルヘルス～ストレスを味方につける! モチベーションマネージメント 講　師：北翔大学大学院人間福祉学研究科研究科長教授　佐藤 至英先生
看護師職能委員会	看護師職能講演会	令和4年10月1日（土）	ACU-A（アスティ45）	参集	テーマ：高齢者救急看護に求められるもの 講　師：なな一る訪問看護ステーション　長瀬 亜岐先生
働き続けられる職場づくり委員会	働き続けられる職場づくり講演会	令和4年9月3日（土）13:30～16:00	北海道看護専門学校	オンライン	テーマ：セルフ・コンパッション～勇気と思いやりをもって生きる～ 講　師：株式会社アットマーク代表　佐高 葵月代先生
教育委員会	支部担当研修	令和4年10月12日（水）～10月13日（木）1.5日	北海道看護協会	参集	テーマ：看護実践に活かすフィジカルアセスメント（呼吸・循環・脳神経・消化器） 講　師：市立札幌病院　クリティカルケア特定認定看護師　山村 竜彦先生
札幌4支部合同（担当：札幌第2支部）	看護管理者懇談会	令和4年10月15日（土）	未定	未定	テーマ：未定 講　師：講義（看護の動向）／
札幌4支部合同（担当：札幌第3支部）	会員懇談会	令和4年9月10日（土）12:00～16:00	ホテルモントレエーデルホフ札幌	ハイブリット	テーマ：患者ケアと臨床倫理 講　師：天使大学看護栄養学部看護学科　前田　朝子先生
札幌第1支部役員会	看護の日健康フェア	令和4年5月21日（土）	コープさっぽろやまはな店	参集:イベント	内　容：血圧・酸素飽和度測定、健康相談
札幌第1支部役員会	札幌第1支部市民フォーラム	令和4年11月19日（土）	カレスサッポロビルカレス8ホール	参集	テーマ：美味しく・上手～く食べよう　人生100年時代 講　師：西円山病院　歯科医師　藤本 篤士先生　老年専門看護師　三浦 直子先生 中村記念病院　摂食・嚥下認定看護師　前田 純子先生
札幌第1支部	令和4年度札幌第1支部大会	令和5年2月18日（土）	札幌パークホテル	参集	テーマ：（仮）発達障害や精神的な困難を抱える人々に対する支援のあり方 講　師：札幌大谷大学社会学部地域社会学科特任教授　二通 諭先生
医療安全特別委員会	第1回医療安全交流会	令和4年7月2日（土）	北海道看護専門学校	オンライン	テーマ：治療的コミュニケーションエラーを医療安全に活かす ーコミュニケーションエラーを減らすためにできることー 講　師：福岡女学院看護大学教授　星 美和子先生
医療安全特別委員会	第2回医療安全交流会	令和4年10月8日(土)	北海道看護専門学校	ハイブリッド	テーマ：スペシャリストに聞く　いますぐできる認知症ケア 講　師：フェアネス法律事務所　弁護士・薬剤師　中村 智広先生 埼玉森林病院　看護師　南 敦司先生